

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	36° 45′ 11″ 138° 21′ 03″	橋梁ID
4034 七瀬上りランプ橋 (フリガナ) ナナセノボリランプキョウ	029 中野豊野線	長野県中野市大字七瀬 地先				36.75306,138.35083
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
長野県 13 中野	2020.09.17	(国)403号 中野市道 七瀬古牧線		一般道		無し

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

国土監理株式会社 花岡 武彦

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	腐食	3-主桁01 写真9		
	横桁	Ⅰ				
	床版	Ⅱ	漏水・遊離石灰、床版ひびわれ	1-床版02 写真12,14,2-床版01 写真9,11, 3-床版01,3-床版02 写真19,21		
下部構造	Ⅱ	ひびわれ	1-橋台01 写真15,16,2-橋脚02 写真12, 3-橋台02 写真22			
支承部	Ⅱ	支承部の機能障害、 沓座モルタルの変形・欠損、 漏水・滞水	1-支承部0201,1-支承部0101 写真21,22,23, 3-支承部0202 写真28,30			
その他	Ⅱ	舗装の異常、道路面の凹凸、 目地材欠損、遊離石灰、 止水材劣化、伸縮装置からの漏水	1-舗装01,1-伸縮装置01 写真1,24,25,26,2-舗装01, 2-高欄02 写真1,20,3-伸縮装置01,3-高欄01, 3-地覆01,3-橋台02 写真31,32,33,34,35			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	主構造の損傷は局所的な錆、ひびわれ・遊離石灰が確認できる。前回の点検時から新規の損傷は確認できない。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1994	106.9	6.7
橋梁形式		
鋼箱桁橋、逆T式橋台2基、柱橋脚1柱小判(RC)2基		

終点

起点



※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	1	舗装	Ⅱ	1-舗装01	舗装の異常	1	2	伸縮装置	I	1-舗装01	遊間の異常
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	3	伸縮装置	I	1-舗装01	路面の凹凸	1	4	高欄・防護柵	I	1-高欄01	腐食、変形・欠損など
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	5	地覆・中央分離帯	I	1-地覆02	変形・欠損など	1	6	排水装置	I	1-排水装置0102	土砂詰まり
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	7	主桁	I	1-主桁01	腐食	1	8	主桁	I	1-主桁01	亀裂
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	9	主桁	I	1-主桁01	ゆるみ・脱落	1	10	主桁	I	1-主桁01	破断
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	11	床版(張出部含む)	I	1-床版02	剥離・鉄筋露出	1	12	床版(張出部含む)	Ⅱ	1-床版02	漏水・遊離石灰
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	13	床版(張出部含む)	Ⅰ	1-床版01	抜け落ち	1	14	床版(張出部含む)	Ⅱ	1-床版02	床版ひびわれ
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	15	橋台・橋脚	Ⅱ	1-橋台01	ひびわれ	1	16	橋台・橋脚	Ⅱ	1-橋台01	ひびわれ
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	17	橋台・橋脚	I	1-橋台01	剥離・鉄筋露出	1	18	橋台・橋脚	I	1-橋脚02	漏水・遊離石灰
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	19	基礎	I	1-基礎01	沈下・移動・傾斜	1	20	基礎	I	1-基礎02	洗掘
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	21	支承部	Ⅱ	1-支承部0201	支承部の機能障害	1	22	支承部	Ⅱ	1-支承部0101	省座モルタルの変形・欠損
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	23	支承部	Ⅱ	1-支承部0101	漏水・滞水	1	24	その他	Ⅱ	1-舗装01(背面舗装)	道路面の凹凸
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

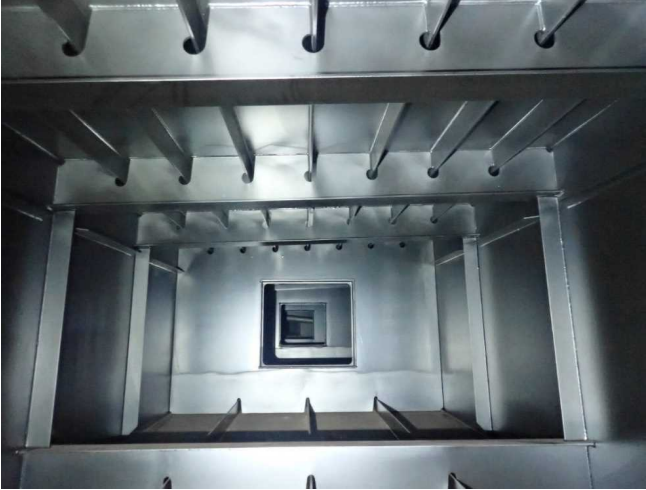
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	25	その他	Ⅱ	1-舗装01(背面舗装)	道路面の凹凸	1	26	その他	Ⅱ	1-伸縮装置01	目地材欠損
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	27	その他	Ⅰ	1-橋台01	伸縮装置からの漏水	1	28	その他	Ⅰ	1-橋台01	表面劣化
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	29	その他	I	1-落橋防止装置0201	腐食	1	30	その他	I	1-袖擁壁0201	欠損
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	31	その他	I	1-箱桁内部91～94	損傷なし(状況写真)	1	32	その他	I	1-箱桁内部91	損傷なし(状況写真)
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
1	33	その他	I	1-箱桁内部94	損傷なし(状況写真)	2	1	舗装	Ⅱ	2-舗装01	舗装の異常
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
2	2	高欄・防護柵	I	2-高欄02	腐食、変形・欠損など	2	3	地覆・中央分離帯	I	2-地覆01	変形・欠損など
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
2	4	主桁	I	2-主桁01	腐食	2	5	主桁	I	2-主桁01	亀裂
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
2	6	主桁	I	2-主桁01	ゆるみ・脱落	2	7	主桁	I	2-主桁01	破断
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

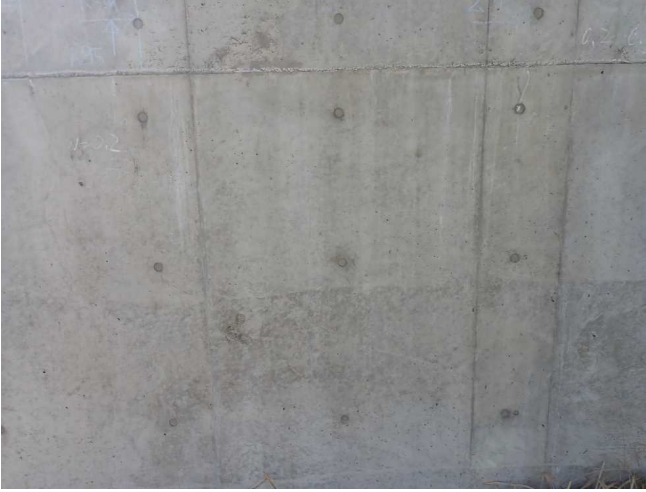
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
2	8	床版(張出部含む)	I	2-床版01	剥離・鉄筋露出	2	9	床版(張出部含む)	Ⅱ	2-床版01	漏水・遊離石灰
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
2	10	床版(張出部含む)	I	2-床版01	抜け落ち	2	11	床版(張出部含む)	Ⅱ	2-床版01	床版ひびわれ
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
2	12	橋台・橋脚	Ⅱ	2-橋脚02	ひびわれ	2	13	橋台・橋脚	I	2-橋脚01	剥離・鉄筋露出
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
2	14	橋台・橋脚	I	2-橋脚02	漏水・遊離石灰	2	15	基礎	I	2-橋脚02	沈下・移動・傾斜
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
2	16	基礎	I	2-橋脚01	洗掘	2	17	支承部	I	2-支承部0201	支承部の機能障害
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
2	18	支承部	I	2-支承部0201	番座モルタルの変形・欠損	2	19	支承部	I	2-支承部0101	漏水・滞水
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

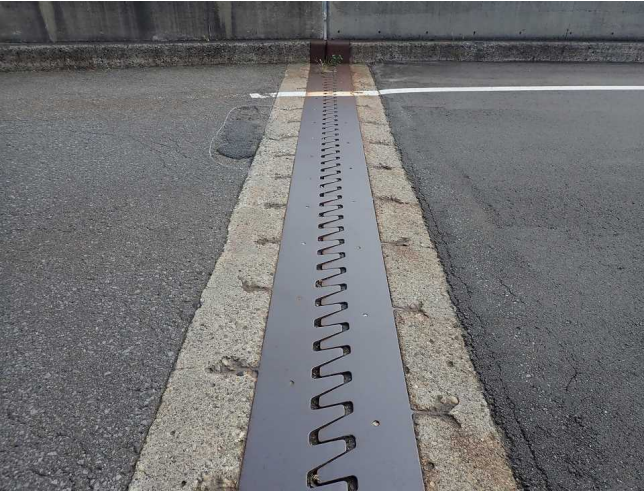
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
2	20	その他	Ⅱ	2-高欄02	遊離石灰	2	21	その他	I	2-箱桁内部94	損傷なし(状況写真)
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
2	22	その他	I	2-箱桁内部91	損傷なし(状況写真)	2	23	その他	I	2-箱桁内部92	損傷なし(状況写真)
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	1	舗装	I	3-舗装01	舗装の異常	3	2	伸縮装置	I	3-伸縮装置01	遊間の異常
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	3	伸縮装置	I	3-伸縮装置01	路面の凹凸	3	4	伸縮装置	I	3-伸縮装置01	路面の凹凸
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	5	高欄・防護柵	I	3-高欄01	腐食、変形・欠損など	3	6	高欄・防護柵	I	3-高欄02	腐食、変形・欠損など
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	7	地覆・中央分離帯	I	3-地覆02	変形・欠損など	3	8	排水装置	I	3-排水装置0101	土砂詰まり
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	9	主桁	Ⅱ	3-主桁01	腐食	3	10	主桁	I	3-主桁01	亀裂
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	11	主桁	I	3-主桁01	ゆるみ・脱落	3	12	主桁	I	3-主桁01	破断
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	13	横桁・縦桁・対傾構・横構	I	3-縦桁02	腐食	3	14	横桁・縦桁・対傾構・横構	I	3-横桁06	腐食
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	15	横桁・縦桁・対傾構・横構	I	3-横桁02	亀裂	3	16	横桁・縦桁・対傾構・横構	I	3-横桁01	ゆるみ・脱落
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

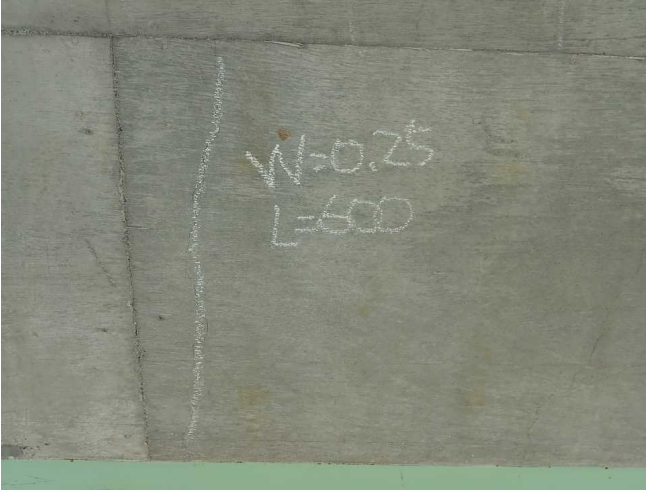
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	17	横桁・縦桁・対傾構・横構	I	3-横桁04	破断	3	18	床版(張出部含む)	I	3-床版02	剥離・鉄筋露出
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	19	床版(張出部含む)	Ⅱ	3-床版01	漏水・遊離石灰	3	20	床版(張出部含む)	I	3-床版02	抜け落ち
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の評定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	21	床版(張出部含む)	Ⅱ	3-床版02	床版ひびわれ	3	22	橋台・橋脚	Ⅱ	3-橋台02	ひびわれ
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	23	橋台・橋脚	I	3-橋台02	剥離・鉄筋露出	3	24	橋台・橋脚	I	3-橋台02	剥離・鉄筋露出
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	25	橋台・橋脚	I	3-橋脚01	漏水・遊離石灰	3	26	基礎	I	3-橋台02	沈下・移動・傾斜
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	27	基礎	I	3-橋脚01	洗掘	3	28	支承部	Ⅱ	3-支承部0202	支承部の機能障害
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	29	支承部	I	3-支承部0102	寄座モルタルの変形・欠損	3	30	支承部	Ⅱ	3-支承部0202	漏水・滞水
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	31	その他	Ⅱ	3-伸縮装置01	止水材劣化	3	32	その他	Ⅱ	3-伸縮装置01	止水材劣化
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

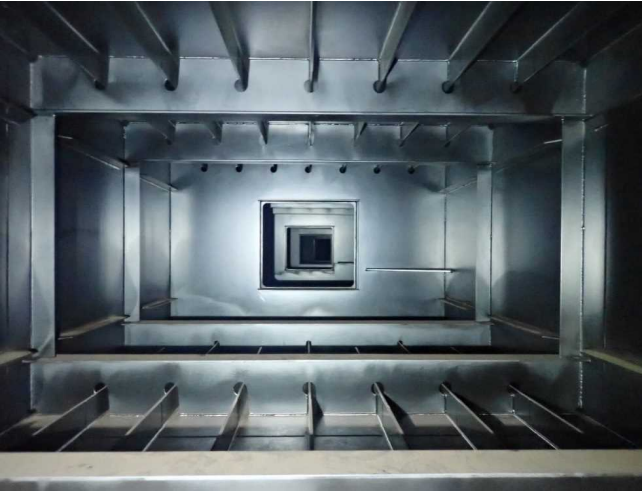
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	33	その他	Ⅱ	3-高欄01	遊離石灰	3	34	その他	Ⅱ	3-地覆01	遊離石灰
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	35	その他	Ⅱ	3-橋台02	伸縮装置からの漏水	3	36	その他	Ⅰ	3-袖擁壁0101	欠損
											

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

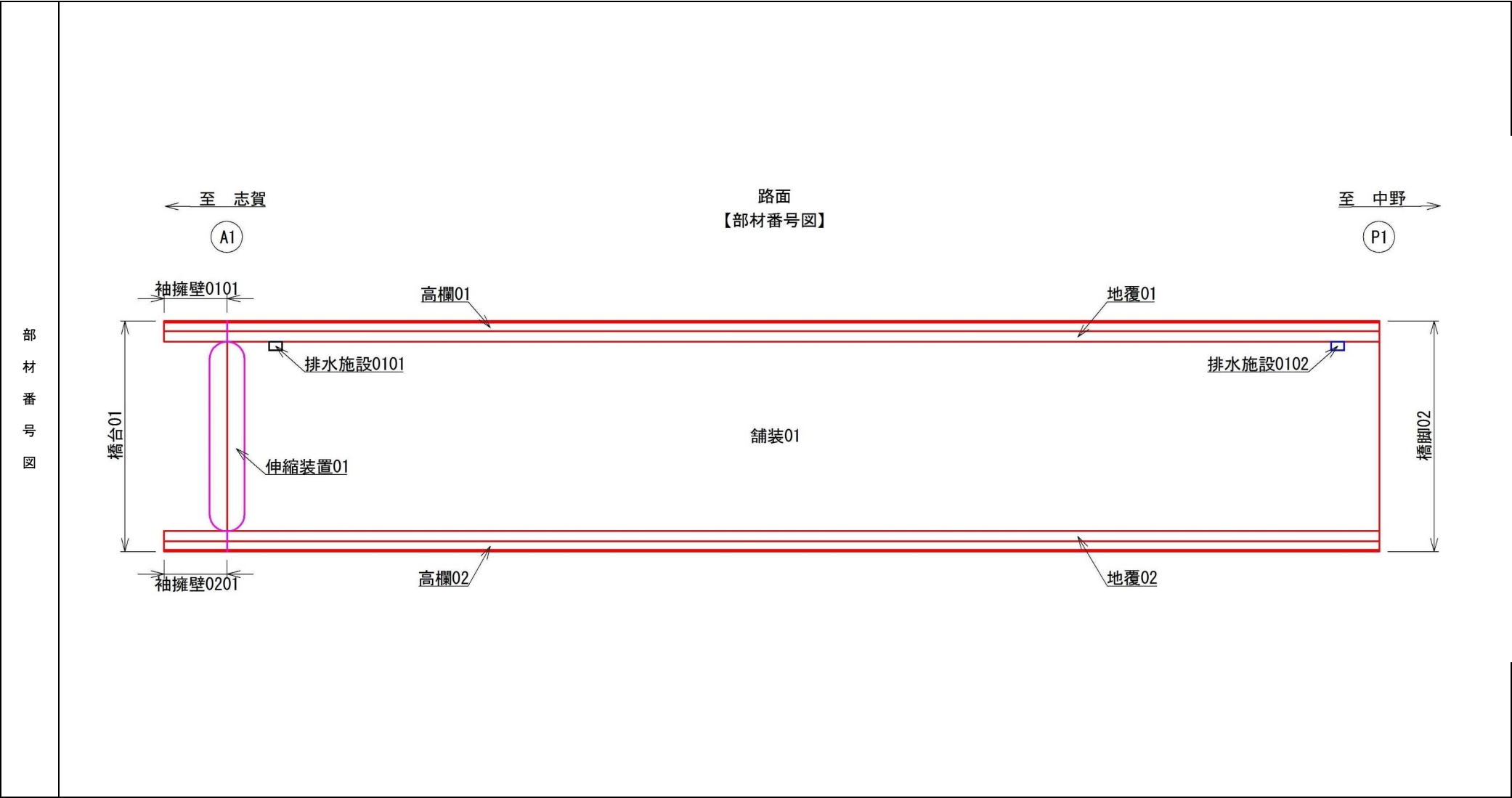
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

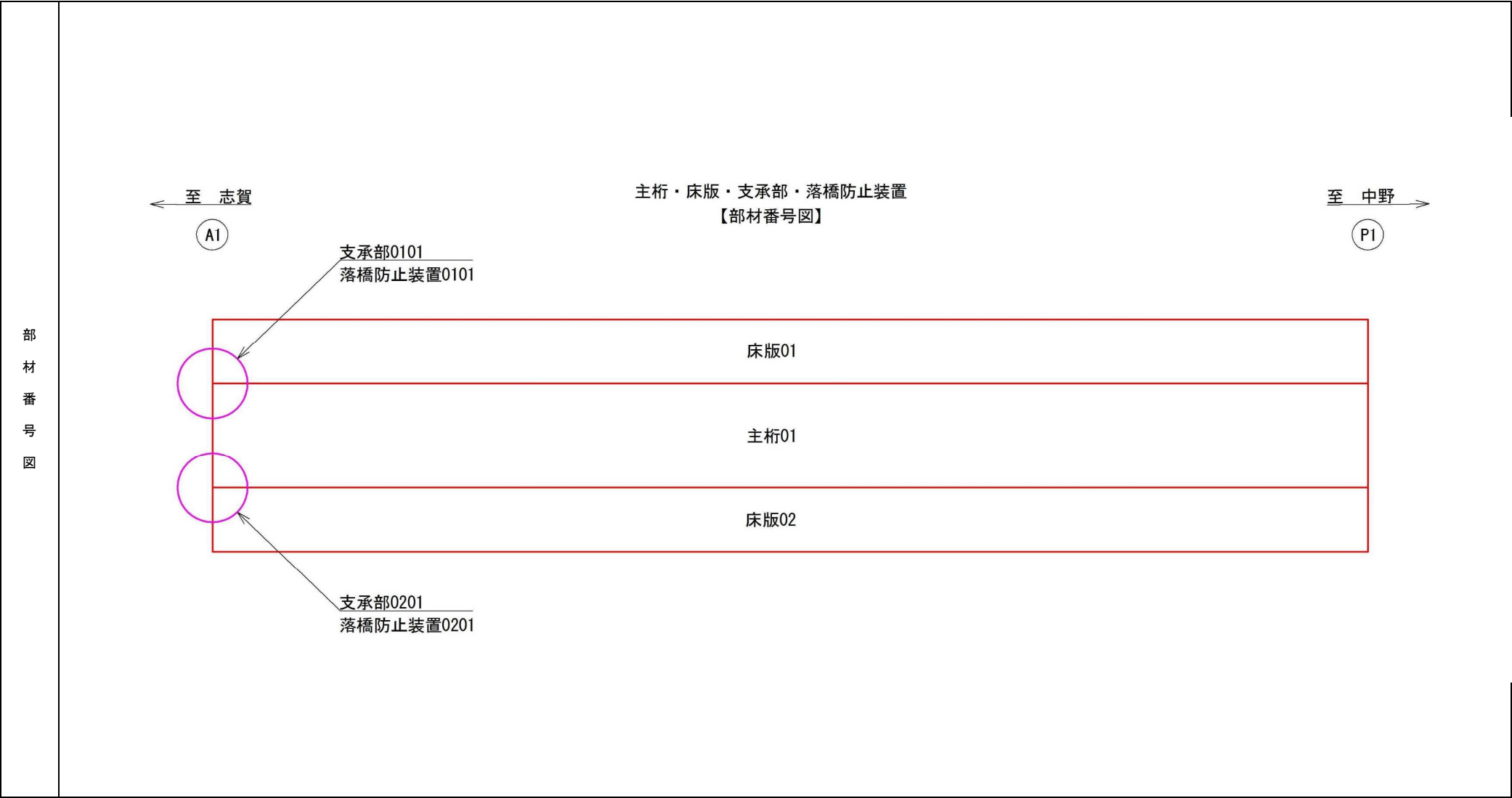
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	37	その他	I	3-落橋防止装置0202	腐食	3	38	その他	I	3-箱桁内部91～94	損傷なし(状況写真)
											
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
3	39	その他	I	3-箱桁内部93	損傷なし(状況写真)	3	40	その他	I	3-箱桁内部 出入口	損傷なし(状況写真)
											

部 材 番 号 図		径 間 番 号	1
-----------	--	---------	---

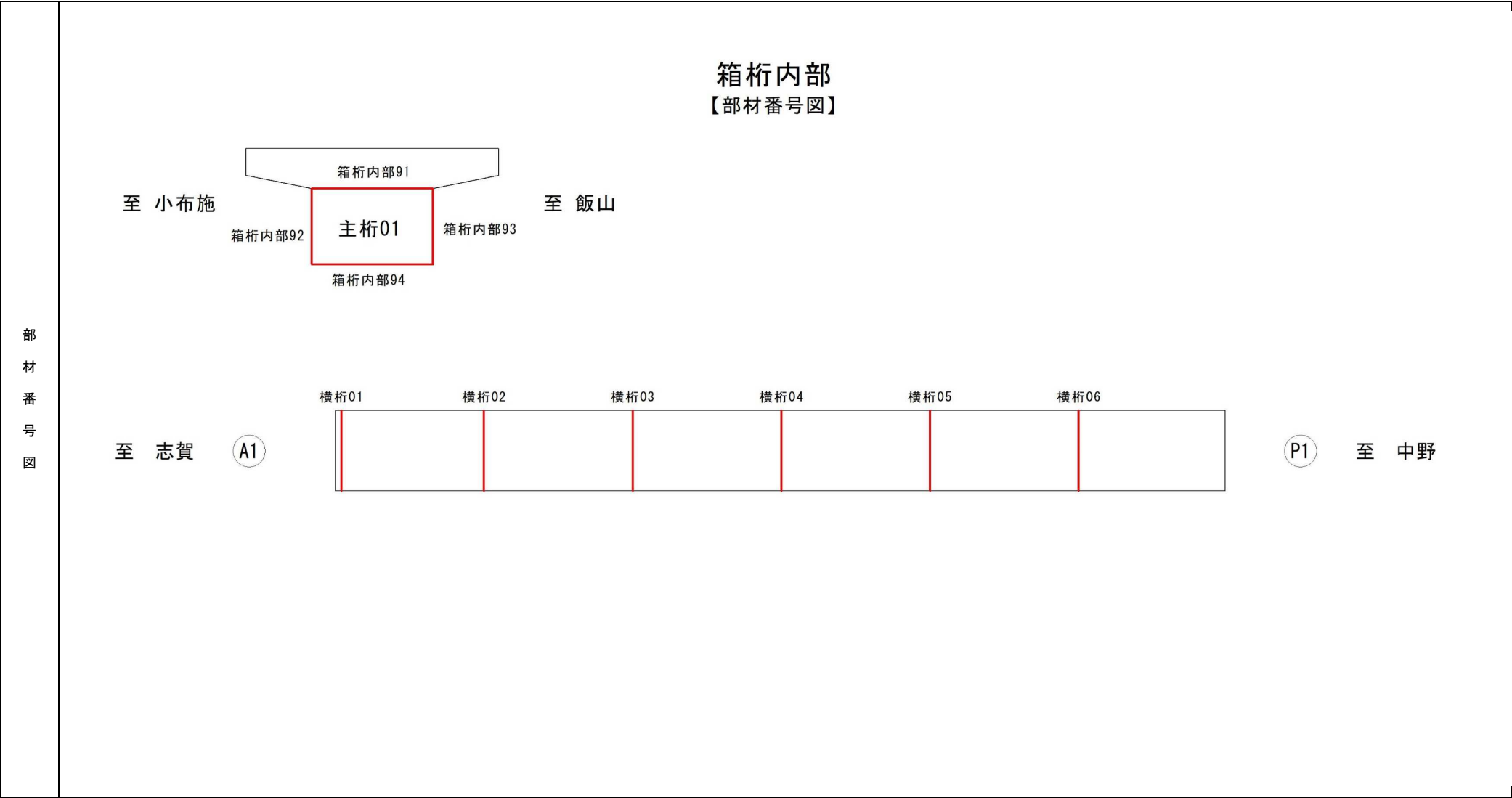
フリガナ 橋 梁 名	ナナセノボリランプキョウ 4034 七瀬上りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4034_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45′ 11″		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 03″				



部 材 番 号 図		径 間 番 号		1				
フリガナ 橋 梁 名	ナナセノボリランプキョウ 4034 七瀬上りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4034_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45′ 11″		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 03″				



部 材 番 号 図		径 間 番 号		1				
フリガナ 橋 梁 名	ナナセノボリランプキョウ 4034 七瀬上りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4034_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45′ 11″		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 03″				



橋梁点検チェックシート			径 間 番 号		1				
フリガナ 橋 梁 名	ナナセノボリランプキョウ 4034 七瀬上りランプ橋		路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4034_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先		起点側	緯度 36° 45' 11" 経度 138° 21' 03"			13 中野	点検年月日	20200917

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目				変状の種類	判定区分 評価基準 (該当する項目に○を付けて下さい)								部材 番号	写真 番号	補修工法	概算 数量	備考		
				該当部材 毎1	未点検	判定区分 I		判定区分 II		判定区分 III		判定区分 IV							
15	鋼	床版※	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。		・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発 錆箇所が複数ある。		・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じてい る。		・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じて いる。							
16			亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし		・断面急変部、溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑 わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状で あってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数 が少ない場合。		・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が 生じている疑いを否定できない塗膜われが生じて いる。		・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂 の原因や生じた範囲が容易に判断できる。							
17			ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少 ない。(一群あたり本数の5%未満である。)				・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い 。(一群あたり本数の5%以上である。)		・F117ボルトによる遅れ破壊の懸念がある。							
18			破断	部材無し	未点検	・損傷なし						・破断している。							
19	上部工	主桁※ (ゲルバー一部、PC 定着部含む)	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小(RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未 満)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。		・ひびわれ幅小(RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未 満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未 満)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未 満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以 上)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。		・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以 上)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。		・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋 する可能性がある。							
20			剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。(鉄筋の露出は局部的)		・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。		・鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食または破 断している。		・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発 生している。							
21			漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし		・ひびわれから漏水が生じている(錆汁や遊離石灰 はほとんどなし)。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。(錆汁はほ とんどなし)		・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰(例えば、つ らら状)が生じている。または、漏水に著しい泥や錆 汁の混入が認められる。									
22			定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められ る。または、ケーブルの定着部に損傷が認められ る。				・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷があ る。または、ケーブルの定着部に著しい損傷があ る。		・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着 部の異常がある。							
23		横桁※ (PC定着部含む) 縦桁	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小(RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未 満)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。		・ひびわれ幅小(RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未 満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未 満)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未 満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以 上)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。		・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以 上)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。		・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋 する可能性がある。							
24			剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。(鉄筋の露出は局部的)		・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。		・鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食または破 断している。		・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発 生している。							
25			漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし		・ひびわれから漏水が生じている(錆汁や遊離石灰 はほとんどなし)。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。(錆汁はほ とんどなし)		・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰(例えば、つ らら状)が生じている。または、漏水に著しい泥や錆 汁の混入が認められる。									
26			定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められ る。または、ケーブルの定着部に損傷が認められ る。				・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷があ る。または、ケーブルの定着部に著しい損傷があ る。		・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着 部の異常がある。							
27		床版※ (張出部、PC定 着部含む)	剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。(鉄筋の露出は局部的)		・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。		・鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食または破 断している。		・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発 生している。		1-床版02	11				
28			漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし		・ひびわれから漏水が生じている(錆汁や遊離石灰 はほとんどなし)。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。(錆汁はほ とんどなし)		・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰(例えば、つ らら状)が生じている。または、漏水に著しい泥や錆 汁の混入が認められる。				1-床版02	12				
29			抜け落ち	部材無し	未点検	・損傷なし						・コンクリート塊の抜け落ちがある。		1-床版01	13				
30			床版ひびわれ	部材無し	未点検	・ひびわれなし、もしくは、ひびわれが確認できな い。		[漏水・遊離石灰が無い場合] ・[方向]→方向、[間隔]間わない、[幅]0.2mm以下 ・[方向]格子状、[間隔]0.5～0.2m、[幅]0.2mm以下 [漏水・遊離石灰が有る場合] ・[方向]→方向または格子状、[間隔]間わない、 [幅]0.2mm以下		[漏水・遊離石灰が無い場合]部分的な角落ち有 ・[方向]→方向、[間隔]間わない、[幅]0.2mm以上 ・[方向]格子状、[間隔]0.2m以下、[幅]0.2mm以上 [漏水・遊離石灰が有る場合]部分的な角落ち有 ・[方向]→方向または格子状、[間隔]間わない、 [幅]0.2mm以上		ある範囲で一体性を失っており、床版の抜け落 ちが懸念される。 ・顕著な漏水を伴う格子状のひびわれが密に発 生している。または、漏水を伴うひびわれがあ り、明らかなうきや剥離が確認される。		1-床版02	14				
31			定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められ る。または、ケーブルの定着部に損傷が認められ る。				・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷があ る。または、ケーブルの定着部に著しい損傷があ る。		・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着 部の異常がある。							

橋梁点検チェックシート					径間番号		1							
フリガナ 橋 梁 名		ナナセノボリランプキョウ 4034 七瀬上りランプ橋			路線名		029 中野豊野線		管理者名	長野県		橋梁番号	4034.0	
所在地		長野県中野市大字七瀬 地先			起点側		緯度	36° 45′ 11″		13 中野	点検年月日	20200917		
							経度	138° 21′ 03″						

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目				変状の種類	判定区分 評価基準（該当する項目に○を付けて下さい）						部材 番号	写真 番号	補修工法	概算 数量	備考		
					該当部材 無し	未点検	判定区分Ⅰ	判定区分Ⅱ	判定区分Ⅲ	判定区分Ⅳ							
32	下部工	鋼	橋脚※	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発 錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じてい る。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じて いる。							
33				亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部、溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑 わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状で あってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数 が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が 生じている疑いを否定できない塗膜われが生じて いる。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂 の原因や生じた範囲が容易に判断できる。							
34				ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少 ない。（一群あたり本数の5%未満である。）		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。 （一群あたり本数の5%以上である。） ・F117ボルトによる遅れ破壊の懸念がある。								
35				破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。							
36	コンクリート	橋台※ 橋脚※	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小（RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未 満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅中（RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未 満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。 ・ひびわれ幅中（RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未 満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅大（RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以 上）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅小（RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未 満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅中（RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未 満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。 ・ひびわれ幅中（RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未 満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅大（RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以 上）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅大（RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以 上）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋 する可能性がある。	1-橋台01	15,16						
37			剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食または破 断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発 生している。	1-橋台01	17						
38			漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰 はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほ とんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つ らら状）が生じている。または、漏水に著しい泥や錆 汁の混入が認められる。		1-橋脚02	18						
39	基礎※		沈下・移動 ・傾斜	部材無し	未点検	・損傷なし			・支点が沈下している。 ・下部工が移動・傾斜している。	1-基礎01	19						
40			洗掘	部材無し	未点検	・損傷なし		・基礎が流水のため洗掘されている。	・基礎が流水のため著しく洗掘されている。	1-基礎02	20						
41	支承部※		支承の 機能障害	部材無し	未点検	・損傷なし	・腐食・土砂詰まり等、支承の機能が損なわれてい る。	・腐食・土砂詰まり等、支承の機能が著しく阻害され ている。	・支承の沈下等により大きな路面段差や桁の脱 落等、危険な状態になる可能性がある。 ・支承の機能が喪失しており、落橋に至る可能性 がある。	1-支承部0201	21						
42			宍座モルタル の変形・欠損	部材無し	未点検	・損傷なし ・宍座モルタルの一部が欠損している。	・宍座モルタルが著しく欠損している。			1-支承部0101	22						
43			漏水・滞水	部材無し	未点検	・損傷なし	・伸縮装置、排水樹取付位置などから漏水し、支 付近に滞水している。			1-支承部0101	23						
44	全体		異常な音・振動 異常なたわみ	—	未点検	・損傷なし			・異常な音あるいは振動や揺れが確認できる。 ・主桁等に異常なたわみが確認できる。								
45	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁 など	損傷を発見 した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]	舗装01（背面舗装） 道路面の凹凸（判定区分Ⅱ）					1-舗装01（背面 舗装）	24,25						
46				[損傷状況]	伸縮装置01 目地材欠損（判定区分Ⅱ）					1-伸縮装置01	26						
47				[損傷状況]	橋台01 伸縮装置からの漏水（判定区分Ⅰ）					1-橋台01	27						
48				[損傷状況]	橋台01 表面劣化（判定区分Ⅰ）					1-橋台01	28						
49				[損傷状況]	落橋防止装置0201 腐食（判定区分Ⅰ）					1-落橋防止装 置0201	29						
50				[損傷状況]	袖擁壁0201 欠損(300mm×500mm)（判定区分Ⅰ）					1-袖擁壁0201	30						
51				[損傷状況]	箱桁内部91～94 状況写真（損傷なし）					1-箱桁内部91～ 94,1-箱桁内部 91,1-箱桁内部94	31,32,33						

健全性の診断		径間番号	1					
フリガナ 橋梁名	ナナセノポリランプキョウ 4034 七瀬上りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4034_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45' 11"		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21' 03"				

損傷図作成用メモ用紙	路面																														
	<table border="1"> <tr> <td>変状の種類</td><td>表 示</td><td>変状の種類</td><td>表 示</td><td>変状の種類</td><td>表 示</td></tr> <tr> <td>ひびわれ</td><td></td><td>遊離石灰</td><td></td><td>うき</td><td></td></tr> <tr> <td>剥離</td><td></td><td>漏水</td><td></td><td>変形・欠損</td><td></td></tr> <tr> <td>鉄筋露出</td><td></td><td>その他</td><td></td><td>腐食</td><td></td></tr> </table>								変状の種類	表 示	変状の種類	表 示	変状の種類	表 示	ひびわれ		遊離石灰		うき		剥離		漏水		変形・欠損		鉄筋露出		その他		腐食
変状の種類	表 示	変状の種類	表 示	変状の種類	表 示																										
ひびわれ		遊離石灰		うき																											
剥離		漏水		変形・欠損																											
鉄筋露出		その他		腐食																											
健全性の診断	部材名		点検時の記録				応急措置後の記録																								
			判定区分の最悪値 (チェックシート)	判定区分の診断 (技術者判断)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考 (写真番号、位置等がわかるように記載)	応急措置後の判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	応急措置内容	措置及び判定 実施年月日																						
	上部構造	主桁	Ⅰ	Ⅰ			—																								
		横桁	—	—			—																								
		床版	Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰、床版ひびわれ	1-床版02 写真12,14	—																								
	下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	1-橋台01 写真15,16	—																								
	支承部		Ⅱ	Ⅱ	支承部の機能障害、 寄座モルタルの変形・欠損、漏水・滞水	1-支承部0201,1-支承部0101 写真21,22,23	—																								
その他		Ⅱ	Ⅱ	舗装の異常、道路面の凹凸、目地材欠損	1-舗装01,1-伸縮装置01 写真1,24,25,26	—																									

健全性の診断		径間番号	1				
フリガナ 橋梁名	ナナセノボリランプキョウ 4034 七瀬上りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号 4034_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度 36° 45' 11"	経度 138° 21' 03"		13 中野	点検年月日 20200917

損傷図作成用メモ用紙	桁下																							
	<table border="1"> <tr> <th>変状の種類</th><th>表示</th><th>変状の種類</th><th>表示</th><th>変状の種類</th><th>表示</th></tr> <tr> <td>ひびわれ</td><td></td><td>遊離石灰</td><td></td><td>うき</td><td></td></tr> <tr> <td>剥離</td><td></td><td>漏水</td><td></td><td>変形・欠損</td><td></td></tr> <tr> <td>鉄筋露出</td><td></td><td>その他</td><td></td><td>腐食</td><td></td></tr> </table>	変状の種類	表示	変状の種類	表示	変状の種類	表示	ひびわれ		遊離石灰		うき		剥離		漏水		変形・欠損		鉄筋露出		その他		腐食
変状の種類	表示	変状の種類	表示	変状の種類	表示																			
ひびわれ		遊離石灰		うき																				
剥離		漏水		変形・欠損																				
鉄筋露出		その他		腐食																				

健全性の診断	部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
			判定区分の最悪値 (チェックシート)	判定区分の診断 (技術者判断)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考 (写真番号、位置等がわかるように記載)	応急措置後の判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	応急措置内容	措置及び判定 実施年月日
	上部構造	主桁	Ⅰ	Ⅰ			—		
		横桁	—	—			—		
		床版	Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰、床版ひびわれ	1-床版02 写真12,14	—		
	下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	1-橋台01 写真15,16	—		
	支承部		Ⅱ	Ⅱ	支承部の機能障害、 番座モルタルの変形・欠損、漏水・滞水	1-支承部0201,1-支承部0101 写真21,22,23	—		
	その他		Ⅱ	Ⅱ	舗装の異常、道路面の凹凸、目地材欠損	1-舗装01,1-伸縮装置01 写真1,24,25,26	—		

健全性の診断			径 間 番 号		1				
フリガナ 橋 梁 名	ナナセノボリランプキョウ 4034 七瀬上りランプ橋		路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4034_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先		起点側	緯度	36° 45′ 11″		13 中野	点検年月日	20200917
				経度	138° 21′ 03″				

損傷図作成用メモ用紙

A1橋台
P1橋脚 (A1側)

支承部0201 支承の機能障害 II
写真番号-21 (腐食)

支承部0101 沓座モルタルの変形・欠損 II
写真番号-22

その他 橋台01 伸縮装置からの漏水 I
写真番号-27

支承部0101 漏水・滞水 II
写真番号-23

その他 橋台01 表面劣化 I
写真番号-28

橋台01 ひびわれ II
写真番号-15, 16
(W=0.35mm L=1200mm)

その他 落橋防止装置0201 腐食 I
写真番号-29

W=0.2mm
W=0.15mm
L=1200mm
600mm×1500mm

変状の種類	表 示	変状の種類	表 示	変状の種類	表 示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		変形・欠損	
鉄筋露出		その他		腐食	

健全性の診断	部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
			判定区分の最悪値 (チェックシート)	判定区分の診断 (技術者判断)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考 (写真番号、位置等がわかるように記載)	応急措置後の判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	応急措置内容	措置及び判定 実施年月日
	上部構造	主桁	Ⅰ	Ⅰ			—		
		横桁	—	—			—		
		床版	Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰、床版ひびわれ	1-床版02 写真12,14	—		
	下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	1-橋台01 写真15,16	—		
	支承部		Ⅱ	Ⅱ	支承部の機能障害、 沓座モルタルの変形・欠損、漏水・滞水	1-支承部0201,1-支承部0101 写真21,22,23	—		
	その他		Ⅱ	Ⅱ	舗装の異常、道路面の凹凸、目地材欠損	1-舗装01,1-伸縮装置01 写真1,24,25,26	—		

健全性の診断		径 間 番 号		1				
フリガナ 橋 梁 名	ナナセノポリランプキョウ 4034 七瀬上りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	桥梁番号	4034_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45′ 11″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 03″				

損傷図作成用メモ用紙

箱桁内部

至 志賀

至 中野

損傷なし

上 面

左側面

下 面

右側面

写真番号-32→

写真番号-31→

↑ 写真番号-33

①A1

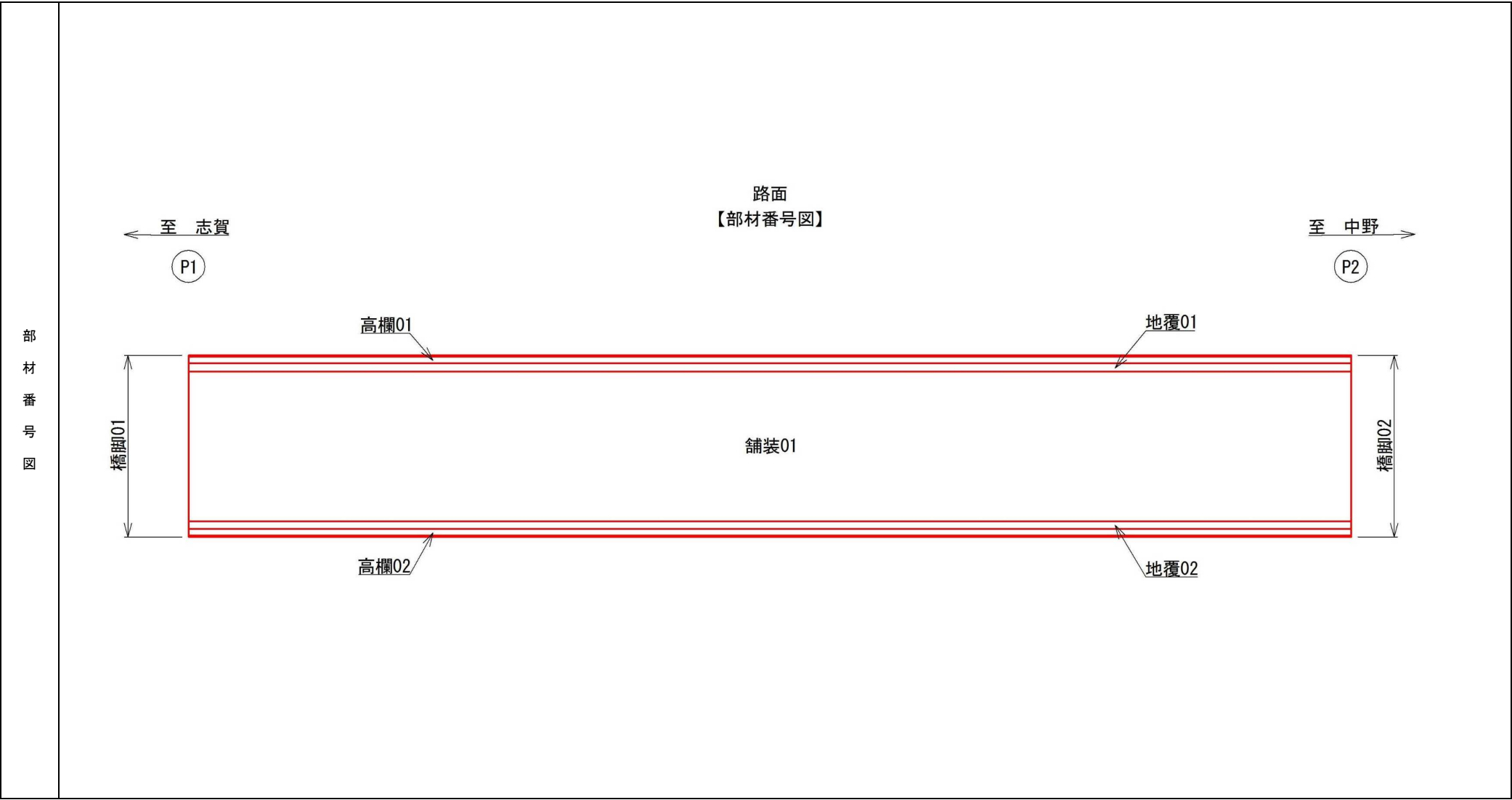
①P1

変状の種類	表 示	変状の種類	表 示	変状の種類	表 示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		変形・欠損	
鉄筋露出		その他		腐食	

健全性の診断	部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
			判定区分の最悪値 (チェックシート)	判定区分の診断 (技術者判断)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考 (写真番号、位置等がわかるように記載)	応急措置後の判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	応急措置内容	措置及び判定 実施年月日
	上部構造	主桁	Ⅰ	Ⅰ			—		
		横桁	—	—			—		
		床版	Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰、床版ひびわれ	1-床版02 写真12,14	—		
	下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	1-橋台01 写真15,16	—		
	支承部		Ⅱ	Ⅱ	支承部の機能障害、 番座モルタルの変形・欠損、漏水・滞水	1-支承部0201,1-支承部0101 写真21,22,23	—		
	その他		Ⅱ	Ⅱ	舗装の異常、道路面の凹凸、目地材欠損	1-舗装01,1-伸縮装置01 写真1,24,25,26	—		

部 材 番 号 図	径 間 番 号	2
-----------	---------	---

フリガナ 橋 梁 名	ナナセノボリランプキョウ 4034 七瀬上りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4034_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45′ 11″		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 03″				



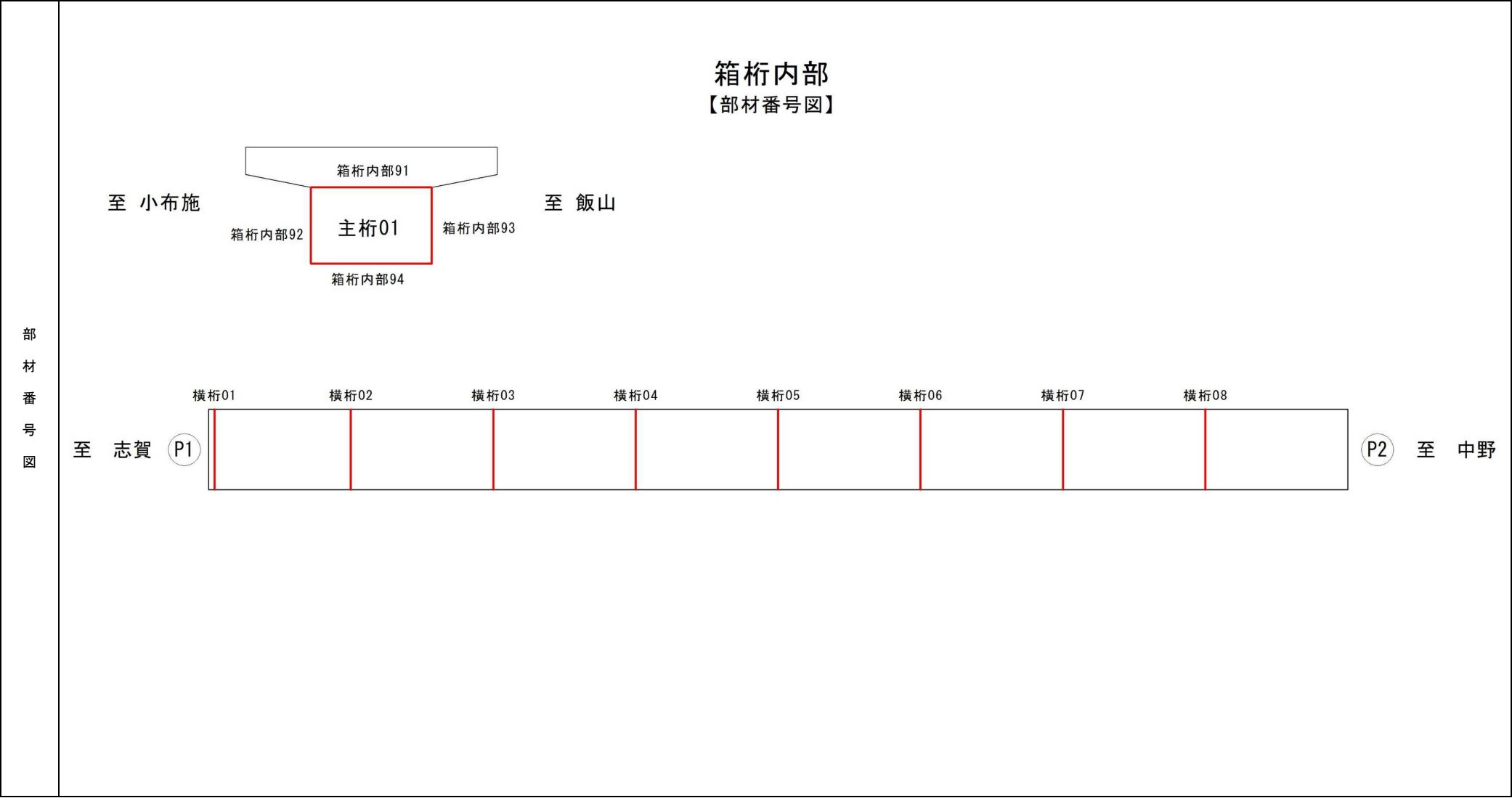
部 材 番 号 図	径 間 番 号	2
-----------	---------	---

フリガナ 橋 梁 名	ナナセノボリランプキョウ 4034 七瀬上りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4034_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45′ 11″		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 03″				



部 材 番 号 図	径 間 番 号	2
-----------	---------	---

フリガナ 橋 梁 名	ナナセノボリランプキョウ 4034 七瀬上りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4034_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45′ 11″		13 中野	調書更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 03″				



橋梁点検チェックシート					径 間 番 号		2				
フリガナ 橋 梁 名	ナナセノポリランプキョウ 4034 七瀬上りランプ橋				路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4034_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先				起点側	緯度	36° 45′ 11″		13 中野	点検年月日	20200917
						経度	138° 21′ 03″				

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目			変状の種類	判定区分 評価基準 (該当する項目に○を付けて下さい)						部材 番号	写真 番号	補修工法	概算 数量	備考
				該当部材 無し	未点検	判定区分 I	判定区分 II	判定区分 III	判定区分 IV					
1	路面・路上	舗装	舗装の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・舗装に軽微な損傷が発生している(ひびわれ幅5mm未満)。	・舗装が著しく損傷している(ひびわれ幅5mm以上)。 ・舗装に穴や異常なへこみがある。	・舗装表面に特異な損傷が見られるが、コンクリート床版の土砂化や鋼床版の亀裂は確認されない。	・舗装の陥没やセメント分の噴出痕が見られ、舗装直下の床版上面のコンクリートの土砂化の発生や、鋼床版の疲労亀裂による過度のたわみの発生が懸念される。	2-舗装01	1			
2		伸縮装置	遊間の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・左右の遊間が極端に異なる、または遊間が直角方向にずれている。		・遊間が異常に広く伸縮継手の部の面が完全に離れている。または、桁とバラベツがあるいは、桁同士が接触している(接触した痕跡がある)。						
3			路面の凹凸	部材無し	未点検	・損傷なし ・横軸方向の凹凸が生じているが段差量は小さい(20mm未満)。		・横軸方向の凹凸が生じており段差量が大きい(20mm以上)。	・著しい凹凸があり、自転車やオートバイが転倒するなど第三者へ障害を及ぼす懸念がある。					
4		高欄・防護柵	腐食 変形・欠損など	部材無し	未点検	・損傷なし ・部材が局部的に腐食・変形している。または、その一部が欠損している。		・部材が局部的に著しく腐食・変形している。または、その一部が著しく欠損している。	・支柱部、レール部に著しい損傷があり、耐力の喪失につながる場合で第三者被害が想定される。	2-高欄02	2			
5		地覆・中央分離帯	変形・欠損など	部材無し	未点検	・損傷なし ・部材が局部的に変形している。または、その一部が欠損している。		・部材が局部的に著しく変形している。または、その一部が著しく欠損している。	・著しい変形・欠損により、第三者被害が想定される。	2-地覆01	3			
6		排水装置	土砂詰まり	部材無し	未点検	・損傷なし	・排水口に土砂詰まりがある。							
7	上部工	主桁※ (ゲルバー一部、格点部、コンクリート埋込部含む)	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。 ・支点部などの応力集中部位、ゲルバー桁の受け梁、トラス構やアーチ構における斜材、支柱、吊材、弦材などの主部材に明らかな断面欠損や著しい板厚減少が生じている。	2-主桁01	4			
8			亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部、溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・主桁のフランジからウェブに進展した明確な亀裂がある。 ・ゲルバー桁の受け梁に亀裂が発生している。 ・アーチ構やトラス構の支柱・吊材・弦材などに明らかな亀裂が発生している。 ・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。	2-主桁01	5			
9			ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。(一群あたり本数の5%未満である。)		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。(一群あたり本数の5%以上である。) ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。		2-主桁01	6			
10			破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。	2-主桁01	7			
11		横桁※ 縦桁 対傾構 横構	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。 ・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。						
12			亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし ・断面急変部、溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。						
13			ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。(一群あたり本数の5%未満である。)		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。(一群あたり本数の5%以上である。) ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。						
14			破断	部材無し	未点検	・損傷なし		・破断している。						

橋梁点検チェックシート				径 間 番 号		2				
フリガナ 橋 梁 名	ナナセノポリランプキョウ 4034 七瀬上りランプ橋			路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4034.0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45′ 11″		13 中野		点検年月日	20200917	
			経度	138° 21′ 03″						

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目				変状の種類	判定区分 評価基準 (該当する項目に○を付けて下さい)						部材 番号	写真 番号	補修工法	概算 数量	備考
					該当部材 無し	未点検	判定区分 I	判定区分 II	判定区分 III	判定区分 IV					
15	鋼	床版※	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりがある発 錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じてい る。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じて いる。						
16			亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部、溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑 わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、縫状でないか、線状で あってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数 が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が 生じている疑いを否定できない塗膜われが生じてい る。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂 の原因や生じた範囲が容易に判断できる。						
17			ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が 少ない。(一群あたり本数の5%未満である。)		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い 。(一群あたり本数の5%以上である。) ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。							
18			破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。						
19	上部工	主桁※ (ゲルバー部、PC 定着部含む)	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小(RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未 満)、間隔小(最小間隔0.5m以上)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未 満)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未 満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以 上)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。	・ひびわれ幅小(RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未 満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未 満)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未 満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以 上)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。	・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以 上)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋 する可能性がある。						
20			剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。(鉄筋の露出は局部的)	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食または破 断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発 生している。						
21			漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている(錆汁や遊離石灰 はほとんどなし)。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。(錆汁はほ とんどなし)	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰(例えば、つ らら状)が生じている。または、漏水に著しい泥や錆 汁の混入が認められる。							
22			定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認めら れる。または、ケーブルの定着部に損傷が認めら れる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷があ る。または、ケーブルの定着部に著しい損傷があ る。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着 部の異常がある。						
23		横桁※ (PC定着部含む) 縦桁	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小(RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未 満)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未 満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以 上)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。	・ひびわれ幅小(RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未 満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未 満)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未 満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以 上)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。	・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以 上)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋 する可能性がある。						
24			剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。(鉄筋の露出は局部的)	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食または破 断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発 生している。						
25			漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている(錆汁や遊離石灰 はほとんどなし)。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。(錆汁はほ とんどなし)	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰(例えば、つ らら状)が生じている。または、漏水に著しい泥や錆 汁の混入が認められる。							
26			定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認めら れる。または、ケーブルの定着部に損傷が認めら れる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷があ る。または、ケーブルの定着部に著しい損傷があ る。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着 部の異常がある。						
27		床版※ (張出部、PC定 着部含む)	剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。(鉄筋の露出は局部的)	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食または破 断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発 生している。	2-床版01	8				
28			漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている(錆汁や遊離石灰 はほとんどなし)。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。(錆汁はほ とんどなし)	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰(例えば、つ らら状)が生じている。または、漏水に著しい泥や錆 汁の混入が認められる。		2-床版01	9				
29			抜け落ち	部材無し	未点検	・損傷なし			・コンクリート塊の抜け落ちがある。	2-床版01	10				
30			床版ひびわれ	部材無し	未点検	・ひびわれなし、もしくは、ひびわれが確認できな い。	【漏水・遊離石灰が無い場合】 ・〔方向〕一方向〔間隔〕間わない〔幅〕0.2mm以下 ・〔方向〕格子状〔間隔〕0.5～0.2m〔幅〕0.2mm以下 【漏水・遊離石灰がある場合】 ・〔方向〕一方向または格子状〔間隔〕間わない 〔幅〕0.2mm以下	【漏水・遊離石灰が無い場合】部分的な角落ち有 ・〔方向〕一方向〔間隔〕間わない〔幅〕0.2mm以上 ・〔方向〕格子状〔間隔〕0.2m以下〔幅〕0.2mm以上 【漏水・遊離石灰がある場合】部分的な角落ち有 ・〔方向〕一方向または格子状〔間隔〕間わない 〔幅〕0.2mm以上	・ある範囲で一様性を失っており、床版の抜け落 ちが懸念される。 ・顕著な漏水を伴う格子状のひびわれが密に発 生している。または、漏水を伴うひびわれがあり、 明らかなきや剥離が確認される。	2-床版01	11				
31			定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認めら れる。または、ケーブルの定着部に損傷が認めら れる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷があ る。または、ケーブルの定着部に著しい損傷があ る。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着 部の異常がある。						

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目					変状の種類	判定区分 評価基準（該当する項目に○を付けて下さい）				部材 番号	写真 番号	補修工法	概算 数量	備考
						該当部材 無し	未点検	判定区分Ⅰ	判定区分Ⅱ					
32	下部工	鋼	橋脚※	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または垢がありある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。				
33				亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部、溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑われし塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。				
34				ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。） ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。					
35				破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。				
36	コンクリート	橋台※ 橋脚※	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅小（RC：0.2mm未満、PC：0.1mm未満）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。 ・ひびわれ幅中（RC：0.3mm未満、PC：0.2mm未満）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。 ・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔大（最小間隔0.5m以上）。	・ひびわれ幅大（RC：0.3mm以上、PC：0.2mm以上）、間隔小（最小間隔0.5m未満）。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。	2-橋脚02	12			
37			剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。（鉄筋の露出は局部的）	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。	2-橋脚01	13			
38			漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。（錆汁はほとんどなし）	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている。または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。		2-橋脚02	14			
39	基礎※		沈下・移動・傾斜	部材無し	未点検	・損傷なし		・支点が沈下している。 ・下部工が移動・傾斜している。	2-橋脚02	15				
40			洗掘	部材無し	未点検	・損傷なし		・基礎が流水のため洗掘されている。	・基礎が流水のため著しく洗掘されている。	2-橋脚01	16			
41	支承部※	支承の機能障害	部材無し	未点検	・損傷なし	・腐食・土砂詰まり等、支承の機能が損なわれている。	・腐食・土砂詰まり等、支承の機能が著しく阻害されている。	・支承の沈下等により大きな路面段差や桁の脱落等、危険な状態になる可能性がある。 ・支承の機能が喪失しており、落橋に至る可能性がある。	2-支承部0201	17				
42		沓座モルタルの変形・欠損	部材無し	未点検	・損傷なし ・沓座モルタルの一部が欠損している。	・沓座モルタルが著しく欠損している。			2-支承部0201	18				
43		漏水・滞水	部材無し	未点検	・損傷なし	・伸縮装置、排水隅取付位置などから漏水し、支承付近に滞水している。			2-支承部0101	19				
44	全体			異常な音・振動 異常なたわみ	—	未点検	・損傷なし		・異常な音あるいは振動や揺れが確認できる。 ・主桁等に異常なたわみが確認できる。					
45	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 添架物 袖擁壁 など	損傷を発見した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況]	高欄02 遊離石灰（判定区分Ⅱ）				2-高欄02	20				
46				[損傷状況]	箱桁内部91.92.94 状況写真（損傷なし）				2-箱桁内部94.2 箱桁内部91.2-箱桁内部92	21,22,23				
47				[損傷状況]										
48				[損傷状況]										
49				[損傷状況]										
50				[損傷状況]										
51				[損傷状況]										

健全性の診断	径間番号	2
--------	------	---

フリガナ 橋梁名	ナナセノボリランプキョウ 4034 七瀬上りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4034_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45' 11"		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21' 03"				

損傷図作成用メモ用紙

路面

変状の種類	表示	変状の種類	表示	変状の種類	表示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		変形・欠損	
鉄筋露出		その他		腐食	

健全性の診断	部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
			判定区分の最悪値 (チェックシート)	判定区分の診断 (技術者判断)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考 (写真番号、位置等がわかるように記載)	応急措置後の判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	応急措置内容	措置及び判定 実施年月日
	上部構造	主桁	Ⅰ	Ⅰ			—		
		横桁	—	—			—		
		床版	Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰、床版ひびわれ	2-床版01 写真9,11	—		
	下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	2-橋脚02 写真12	—		
	支承部		Ⅰ	—			—		
	その他		Ⅱ	Ⅱ	舗装の異常、遊離石灰	2-舗装01,2-高欄02 写真1,20	—		

健全性の診断	径間番号	2
--------	------	---

フリガナ 橋梁名	ナナセノボリランプキョウ 4034 七瀬上りランプ橋	路線名	029 中野豊野線	管理者名	長野県	橋梁番号	4034_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度 36° 45' 11" 経度 138° 21' 03"		13 中野	点検年月日	20200917

損傷図作成用メモ用紙

桁下

変状の種類	表示	変状の種類	表示	変状の種類	表示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		変形・欠損	
鉄筋露出		その他		腐食	

健全性の診断	部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
			判定区分の最悪値 (チェックシート)	判定区分の診断 (技術者判断)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考 (写真番号、位置等がわかるように記載)	応急措置後の判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	応急措置内容	措置及び判定 実施年月日
	上部構造	主桁	Ⅰ	Ⅰ			—		
		横桁	—	—			—		
		床版	Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰、床版ひびわれ	2-床版01 写真9,11	—		
	下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	2-橋脚02 写真12	—		
	支承部		Ⅰ	—			—		
	その他		Ⅱ	Ⅱ	舗装の異常、遊離石灰	2-舗装01,2-高欄02 写真1,20	—		

健全性の診断	径間番号	2
--------	------	---

フリガナ 橋梁名	ナナセノボリランプキョウ 4034 七瀬上りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4034_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45′ 11″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 03″				

損傷図作成用メモ用紙

P1橋脚 (P2側)
P2橋脚 (P1側)

側面

至 志賀

至 中野

P1橋脚 (P2側)

W=0.2mm W=0.2mm

側面

至 中野

至 志賀

P2橋脚 (P1側)

橋脚02 ひびわれ II
写真番号-12 (W=0.20mm)

変状の種類	表 示	変状の種類	表 示	変状の種類	表 示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		変形・欠損	
鉄筋露出		その他		腐食	

健全性の診断	部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
			判定区分の最悪値 (チェックシート)	判定区分の診断 (技術者判断)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考 (写真番号、位置等がわかるように記載)	応急措置後の判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	応急措置内容	措置及び判定 実施年月日
	上部構造	主桁	Ⅰ	Ⅰ			—		
		横桁	—	—			—		
		床版	Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰、床版ひびわれ	2-床版01 写真9,11	—		
	下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	2-橋脚02 写真12	—		
	支承部		Ⅰ	—			—		
	その他		Ⅱ	Ⅱ	舗装の異常、遊離石灰	2-舗装01,2-高欄02 写真1,20	—		

健全性の診断	径間番号	2
--------	------	---

フリガナ 橋梁名	ナナセノボリランプキョウ 4034 七瀬上りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4034_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45′ 11″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 03″				

損傷図作成用メモ用紙

箱桁内部

損傷なし

上 面

写真番号-22→

左側面

写真番号-23

写真番号-21

下 面

右側面

至 志賀

至 中野

P1

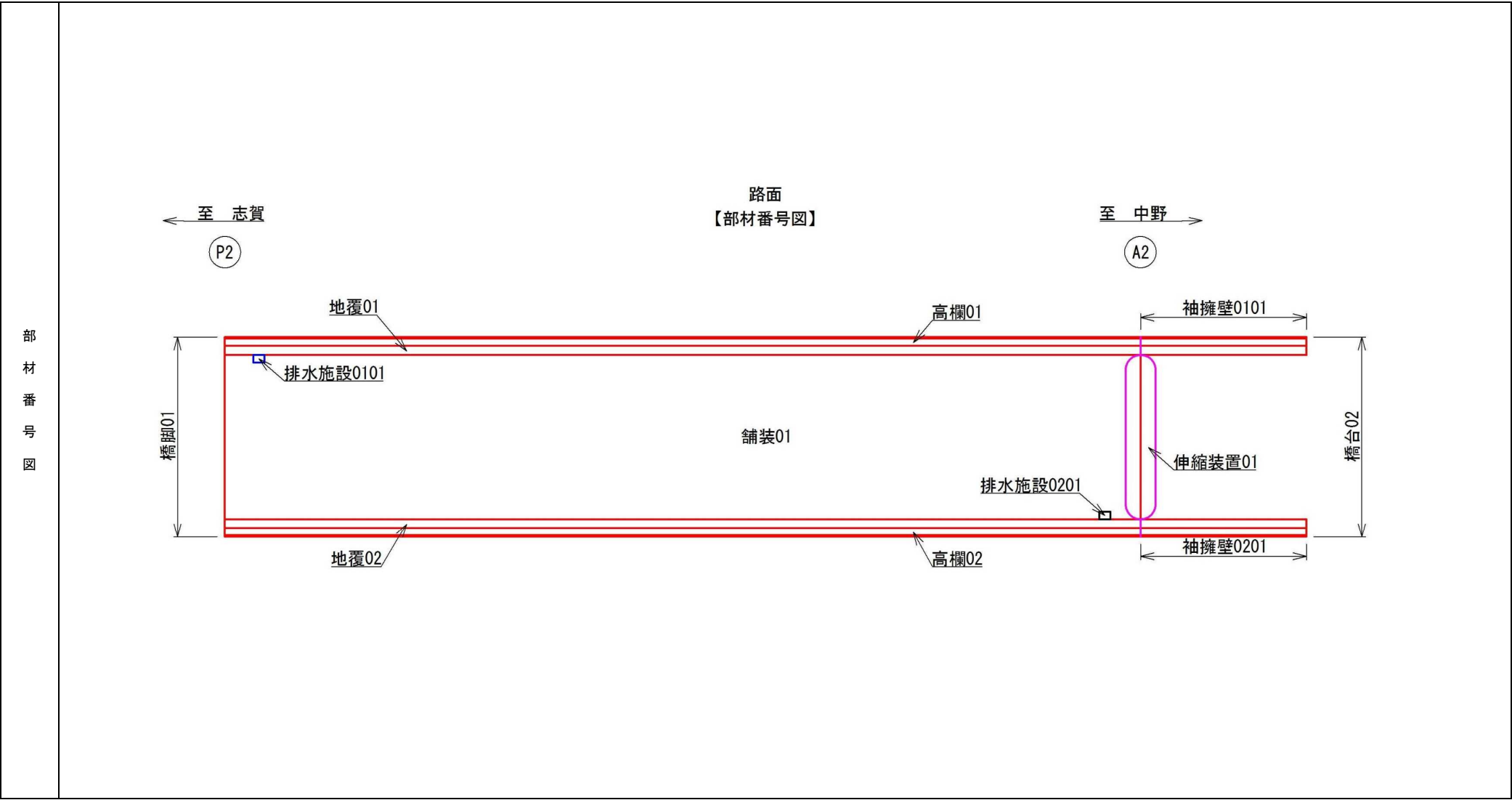
P2

変状の種類	表 示	変状の種類	表 示	変状の種類	表 示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		変形・欠損	
鉄筋露出		その他		腐食	

健全性の診断	部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
			判定区分の最悪値 (チェックシート)	判定区分の診断 (技術者判断)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考 (写真番号、位置等がわかるように記載)	応急措置後の判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	応急措置内容	措置及び判定 実施年月日
	上部構造	主桁	Ⅰ	Ⅰ			—		
		横桁	—	—			—		
		床版	Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰、床版ひびわれ	2-床版01 写真9,11	—		
	下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	2-橋脚02 写真12	—		
	支承部		Ⅰ	—			—		
	その他		Ⅱ	Ⅱ	舗装の異常、遊離石灰	2-舗装01,2-高欄02 写真1,20	—		

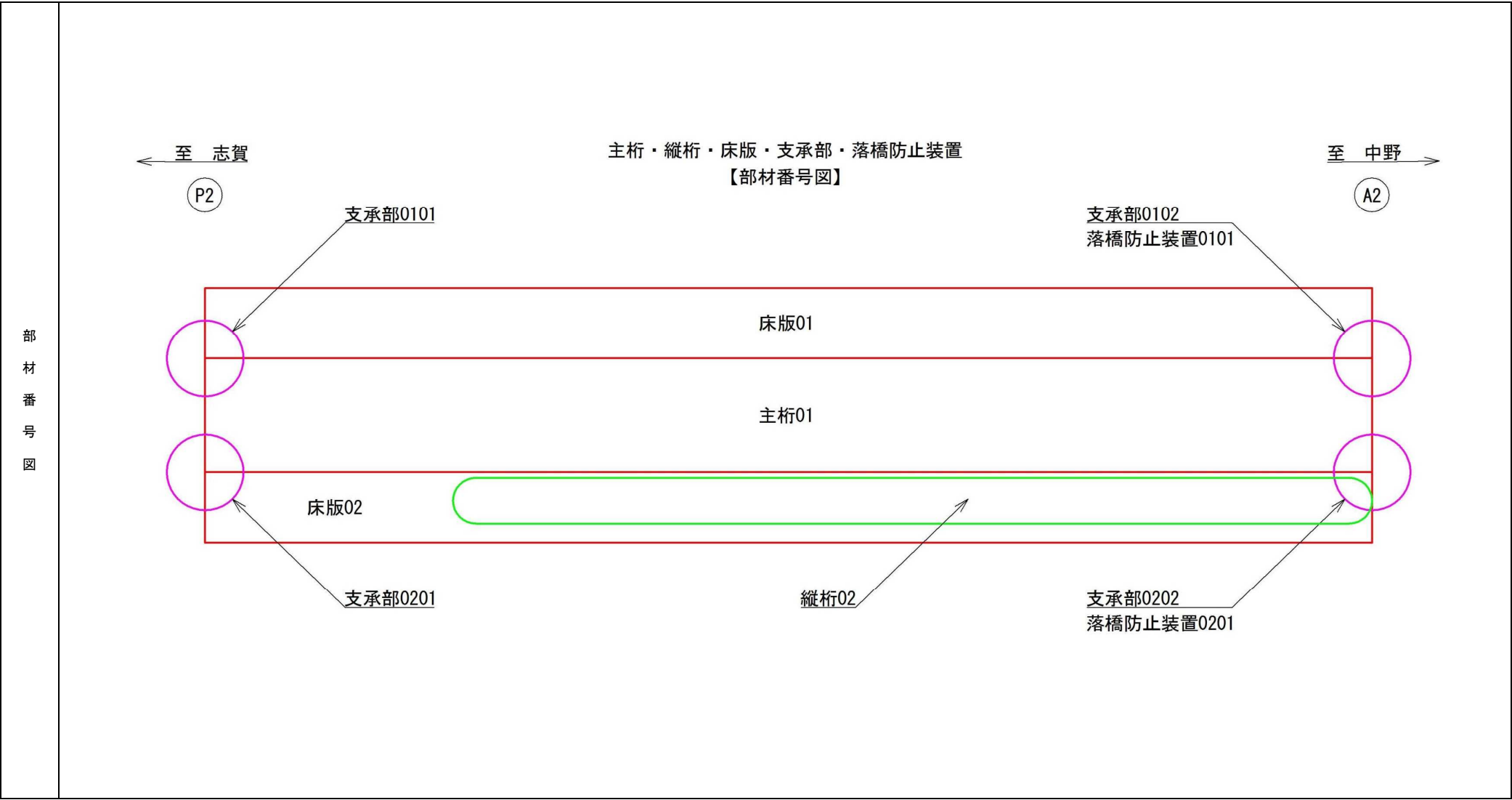
部 材 番 号 図	径 間 番 号	3
-----------	---------	---

フリガナ 橋 梁 名	ナナセノボリランプキョウ 4034 七瀬上りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4034_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45′ 11″		13 中野	調査更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 03″				



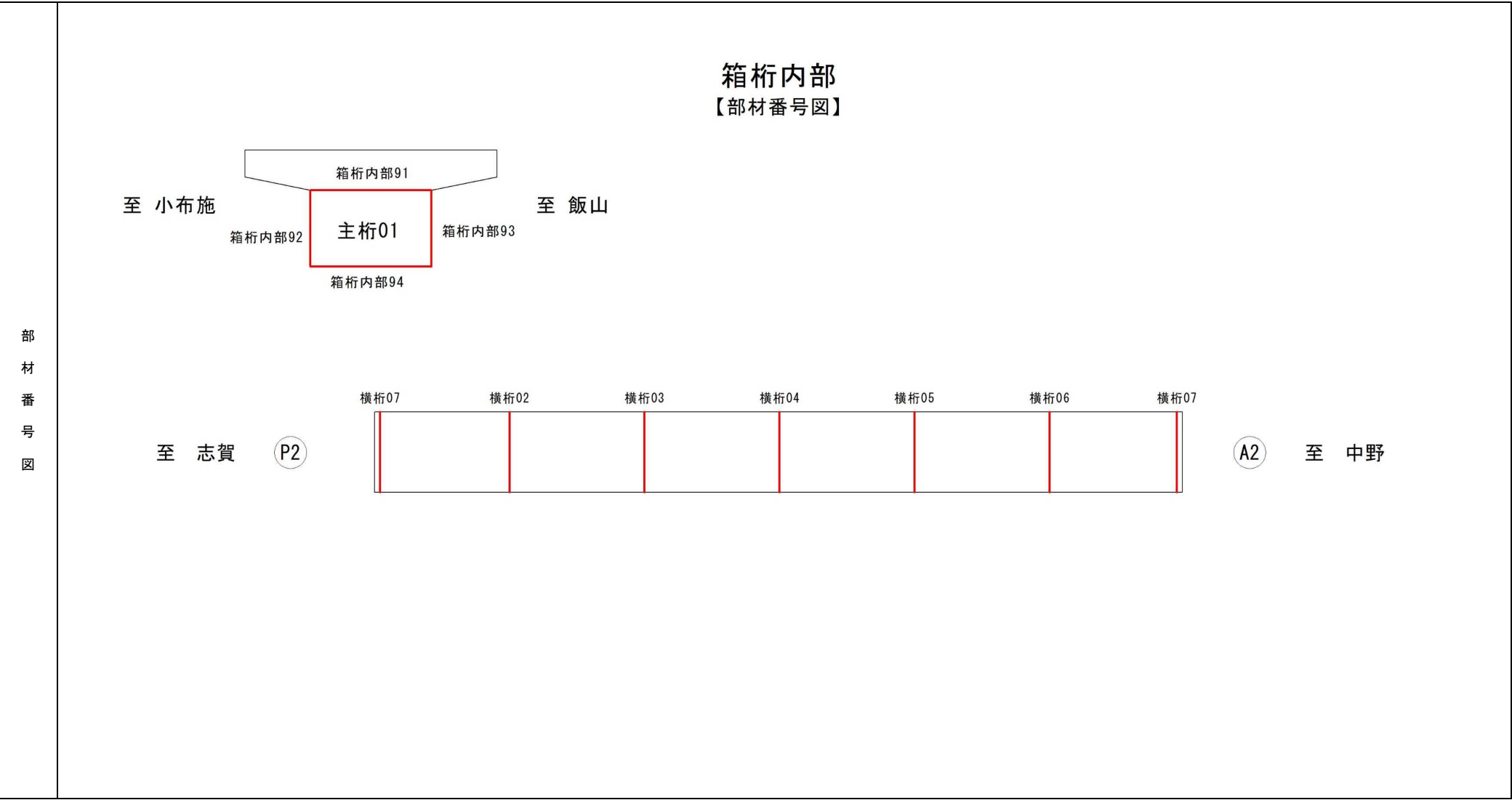
部 材 番 号 図	径 間 番 号	3
-----------	---------	---

フリガナ 橋 梁 名	ナナセノボリランプキョウ 4034 七瀬上りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4034_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45′ 11″		13 中野	調査更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 03″				



部 材 番 号 図	径 間 番 号	3
-----------	---------	---

フリガナ 橋 梁 名	ナナセノボリランプキョウ 4034 七瀬上りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4034_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45′ 11″		13 中野	調査更新年月日	20200917
			経度	138° 21′ 03″				



橋梁点検チェックシート	径 間 番 号	3
-------------	---------	---

フリガナ 橋 梁 名	ナナセノポリランブキョウ 4034 七瀬上リランブ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4034_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45′ 11″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 03″				

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目			変状の種類	判定区分 評価基準（該当する項目に○を付けて下さい）						部材 番号	写真 番号	補修工法	概算 数量	備考
				該当部材 無し	未点検	判定区分Ⅰ		判定区分Ⅱ						
1	路面・路上	舗装	舗装の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・舗装に軽微な損傷が発生している（ひびわれ幅5mm未満）。	・舗装が著しく損傷している（ひびわれ幅5mm以上）。 ・舗装に穴や異常なへこみがある。	・舗装表面に特異な損傷が見られるが、コンクリート床版の土砂化や鋼床版の亀裂は確認されない。	・舗装の陥没やセメント分の噴出痕が見られ、舗装直下の床版上面のコンクリートの土砂化の発生や、鋼床版の疲労亀裂による過度のたわみの発生が懸念される。	3-舗装01	1			
2			伸縮装置	遊間の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・左右の遊間が極端に異なる、または遊間が直角方向にずれている。		・遊間が異常に広く伸縮継手の櫛の歯が完全に離れている。または、桁とバラベツトあるいは、桁同士が接触している（接触した痕跡がある）。		3-伸縮装置01	2		
3		路面の凹凸		部材無し	未点検	・損傷なし ・横軸方向の凹凸が生じているが段差量は小さい（20mm未満）。		・横軸方向の凹凸が生じており段差量が大きい（20mm以上）。	・著しい凹凸があり、自転車やオートバイが転倒するなど第三者へ障害を及ぼす懸念がある。	3-伸縮装置01	3.4			
4		高欄・防護柵	腐食 変形・欠損など	部材無し	未点検	・損傷なし ・部材が局部的に腐食・変形している。または、その一部が欠損している。		・部材が局部的に著しく腐食・変形している。または、その一部が著しく欠損している。	・支柱部、レール部に著しい損傷があり、耐力の喪失につながる場合で第三者被害が想定される。	3-高欄01、3-高欄02	5.6			
5		地覆・中央分離帯	変形・欠損など	部材無し	未点検	・損傷なし ・部材が局部的に変形している。または、その一部が欠損している。		・部材が局部的に著しく変形している。または、その一部が著しく欠損している。	・著しい変形・欠損により、第三者被害が想定される。	3-地覆02	7			
6		排水装置	土砂詰まり	部材無し	未点検	・損傷なし	・排水側に土砂詰まりがある。			3-排水装置0101	8			
7	上部工	主桁※ （ゲルバー一部、格点部、コンクリート埋込部含む）	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。 ・支点部などの応力集中部位、ゲルバー桁の受け梁、トラス橋やアーチ橋における斜材、支柱、吊材、弦材などの主部材に明らかな断面欠損や著しい板厚減少が生じている。	3-主桁01	9			
8			亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部、溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・主桁のフランジからウェブに進展した明確な亀裂がある。 ・ゲルバー桁の受け梁に亀裂が発生している。 ・アーチ橋やトラス橋の支柱・吊材・弦材などに明らかな亀裂が発生している。 ・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。	3-主桁01	10			
9			ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。） ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。		3-主桁01	11			
10			破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。	3-主桁01	12			
11		横桁※ 縦桁 対傾構 横構	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。 ・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。		3-縦桁02、3-横桁06	13,14			
12			亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし ・断面急変部、溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。		3-横桁02	15			
13			ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）	・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。）	・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。		3-横桁01	16			
14			破断	部材無し	未点検	・損傷なし		・破断している。		3-横桁04	17			

橋梁点検チェックシート		径 間 番 号	3
-------------	--	---------	---

フリガナ 橋 梁 名	ナナセノボリランプキョウ 4034 七瀬上りランプ橋	路線名	029 中野豊野線	管理者名	長野県	橋梁番号	4034_0	
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度		36° 45' 11"	13 中野	点検年月日	20200917
			経度		138° 21' 03"			

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目				変状の種類	該当部材 無し	未点検	判定区分 評価基準（該当する項目に○を付けて下さい）				部材 番号	写真 番号	補修工法	概算 数量	備考
							判定区分Ⅰ	判定区分Ⅱ	判定区分Ⅲ	判定区分Ⅳ					
15	鋼	床版※	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。						
16			亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部、溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。						
17			ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない。（一群あたり本数の5%未満である。）		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。（一群あたり本数の5%以上である。） ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。							
18			破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。						
19	上部工	主桁※ (ゲルバー一部、PC定着部含む)	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小(RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未満)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。	・ひびわれ幅小(RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未満)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。	・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。						
20			剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。(鉄筋の露出は局部的)	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。						
21			漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている(錆汁や遊離石灰はほとんどなし)。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。(錆汁はほとんどなし)	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰(例えば、つらら状)が生じている。または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。							
22			定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる、または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある、または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。						
23		コンクリート	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小(RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未満)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。	・ひびわれ幅小(RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未満)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。	・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以上)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。						
24			剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。(鉄筋の露出は局部的)	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。						
25			漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている(錆汁や遊離石灰はほとんどなし)。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。(錆汁はほとんどなし)	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰(例えば、つらら状)が生じている。または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。							
26			定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる、または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある、または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。						
27			剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。(鉄筋の露出は局部的)	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食または破断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。	3-床版02	18				
28			漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている(錆汁や遊離石灰はほとんどなし)。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。(錆汁はほとんどなし)	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰(例えば、つらら状)が生じている。または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。		3-床版01	19				
29			抜け落ち	部材無し	未点検	・損傷なし			・コンクリート塊の抜け落ちがある。	3-床版02	20				
30			床版ひびわれ	部材無し	未点検	・ひびわれなし、もしくは、ひびわれが確認できない。	[漏水・遊離石灰が無い場合] ・〔方向〕一方向〔間隔〕間わない〔幅〕0.2mm以下 ・〔方向〕格子状〔間隔〕0.5～0.2m〔幅〕0.2mm以下 [漏水・遊離石灰がある場合] ・〔方向〕一方向または格子状〔間隔〕間わない〔幅〕0.2mm以下	[漏水・遊離石灰が無い場合]部分的な角落ち有 ・〔方向〕一方向〔間隔〕間わない〔幅〕0.2mm以上 ・〔方向〕格子状〔間隔〕0.2m以下〔幅〕0.2mm以上 [漏水・遊離石灰がある場合]部分的な角落ち有 ・〔方向〕一方向または格子状〔間隔〕間わない〔幅〕0.2mm以上	・ある範囲で一体性を失っており、床版の抜け落ちが懸念される。 ・顕著な漏水を伴う格子状のひびわれが密に発生している。または、漏水を伴うひびわれがあり、明らかなうきや剥離が確認される。	3-床版02	21				
31			定着部の異常	部材無し	未点検	・損傷なし ・PC鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる、または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。		・PC鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある、または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。						

橋梁点検チェックシート			径 間 番 号		3				
フリガナ 橋 梁 名	ナナセノボリランキョウ 4034 七瀬上りランプ橋		路線名	029 中野豊野線	管理者名	長野県	橋梁番号	4034.0	
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先		起点側	緯度		36° 45' 11"	13 中野	点検年月日	20200917
				経度		138° 21' 03"			

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小限点検すべき部材を示す

点検項目				変状の種類	判定区分 評価基準（該当する項目に○を付けて下さい）						部材 番号	写真 番号	補修工法	概算 数量	備考		
				該当部材 無し	未点検	判定区分Ⅰ		判定区分Ⅱ		判定区分Ⅲ		判定区分Ⅳ					
32	下部工	鋼	橋脚※	腐食	部材無し	未点検	・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発 錆箇所が複数ある。	・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じてい る。	・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じて いる。							
33				亀裂	部材無し	未点検	・損傷なし	・断面急変部、溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑 わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状で あってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数 が少ない場合。	・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が 生じている疑いを否定できない塗膜われが生じて いる。	・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂 の原因や生じた範囲が容易に判断できる。							
34				ゆるみ・脱落	部材無し	未点検	・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少 ない。（一群あたり本数の5%未満である。）		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い。 （一群あたり本数の5%以上である。） ・F11Tボルトによる遅れ破壊の懸念がある。								
35				破断	部材無し	未点検	・損傷なし			・破断している。							
36	コンクリート	橋台※ 橋脚※	ひびわれ	部材無し	未点検	・損傷なし ・ひびわれ幅小(RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未 満)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未 満)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以 上)、間隔大(最小間隔0.5m以上)。	・ひびわれ幅小(RC:0.2mm未満、PC:0.1mm未 満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅中(RC:0.3mm未満、PC:0.2mm未 満)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。 ・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以 上)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。	・ひびわれ幅大(RC:0.3mm以上、PC:0.2mm以 上)、間隔小(最小間隔0.5m未満)。	・顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋 する可能性がある。		3-橋台02	22					
37				剥離・鉄筋露出	部材無し	未点検	・損傷なし ・剥離のみが生じている。(鉄筋の露出は局部的)	・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。	・鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食または破 断している。	・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発 生している。		3-橋台02	23,24				
38				漏水・遊離石灰	部材無し	未点検	・損傷なし	・ひびわれから漏水が生じている(錆汁や遊離石灰 はほとんどなし)。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている。(錆汁はほ とんどなし)	・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰(例えば、つ らら状)が生じている。または、漏水に著しい泥や錆 汁の混入が認められる。			3-橋脚01	25				
39	基礎※			沈下・移動 ・傾斜	部材無し	未点検	・損傷なし			・支点が沈下している。 ・下部工が移動・傾斜している。		3-橋台02	26				
40				洗掘	部材無し	未点検	・損傷なし		・基礎が流水のため洗掘されている。	・基礎が流水のため著しく洗掘されている。		3-橋脚01	27				
41	支承部※			支承の 機能障害	部材無し	未点検	・損傷なし	・腐食・土砂詰まり等、支承の機能が損なわれて いる。	・腐食・土砂詰まり等、支承の機能が著しく阻害され ている。	・支承の沈下等により大きな路面段差や桁の脱 落等、危険な状態になる可能性がある。 ・支承の機能が喪失しており、落橋に至る可能性 がある。		3-支承部 0202	28				
42				沓座モルタル の変形・欠損	部材無し	未点検	・損傷なし ・沓座モルタルの一部が欠損している。	・沓座モルタルが著しく欠損している。			3-支承部 0102	29					
43				漏水・滞水	部材無し	未点検	・損傷なし	・伸縮装置、排水隅取付位置などから漏水し、支承 付近に滞水している。			3-支承部 0202	30					
44	全体			異常な音・振動 異常なたわみ	—	未点検	・損傷なし			・異常な音あるいは振動や揺れが確認できる。 ・主桁等に異常なたわみが確認できる。							
45	その他	落橋防止装置 補修・補強材 遮音施設 照明、標識装置 点検施設 落架物 袖擁壁 など	損傷を発見 した場合 ・損傷状況 ・損傷写真 を記録	[損傷状況] 伸縮装置01 止水材劣化（判定区分Ⅱ）							3-伸縮装置 01	31,32					
46				[損傷状況] 高欄01 遊離石灰（判定区分Ⅱ）							3-高欄01	33					
47				[損傷状況] 地覆01 遊離石灰（判定区分Ⅱ）							3-地覆01	34					
48				[損傷状況] 橋台02 伸縮装置からの漏水（判定区分Ⅱ）							3-橋台02	35					
49				[損傷状況] 袖擁壁0101 欠損（判定区分Ⅰ）							3-袖擁壁 0101	36					
50				[損傷状況] 落橋防止装置0202 腐食（判定区分Ⅰ）							3-落橋防止 装置0202	37					
51				[損傷状況] 箱桁内部91～94・箱桁出入口 状況写真（損傷なし）							3-箱桁内部91～ 94.3-箱桁内部 93.3-箱桁内部 出入口	38,39,40					

健全性の診断		径 間 番 号		3				
フリガナ 橋 梁 名	ナナセノポリランプキョウ 4034 七瀬上りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4034_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45′ 11″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 03″				

損傷図作成用メモ用紙	路面 <table border="1"> <tr> <th>変状の種類</th><th>表示</th><th>変状の種類</th><th>表示</th><th>変状の種類</th><th>表示</th></tr> <tr> <td>ひびわれ</td><td></td><td>遊離石灰</td><td></td><td>うき</td><td></td></tr> <tr> <td>剥離</td><td></td><td>漏水</td><td></td><td>変形・欠損</td><td></td></tr> <tr> <td>鉄筋露出</td><td></td><td>その他</td><td></td><td>腐食</td><td></td></tr> </table>								変状の種類	表示	変状の種類	表示	変状の種類	表示	ひびわれ		遊離石灰		うき		剥離		漏水		変形・欠損		鉄筋露出		その他		腐食																																													
	変状の種類	表示	変状の種類	表示	変状の種類	表示																																																																						
ひびわれ		遊離石灰		うき																																																																								
剥離		漏水		変形・欠損																																																																								
鉄筋露出		その他		腐食																																																																								
健全性の診断	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">部材名</th> <th colspan="4">点検時の記録</th> <th colspan="3">応急措置後の記録</th> </tr> <tr> <th>判定区分の最悪値 (チェックシート)</th> <th>判定区分の診断 (技術者判断)</th> <th>変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)</th> <th>備考 (写真番号、位置等がわかるように記載)</th> <th>応急措置後の判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)</th> <th>応急措置内容</th> <th>措置及び判定 実施年月日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">上部構造</td> <td>主桁</td> <td>Ⅱ</td> <td>Ⅱ</td> <td>腐食</td> <td>3-主桁01 写真9</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>横桁</td> <td>Ⅰ</td> <td>Ⅰ</td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>床版</td> <td>Ⅱ</td> <td>Ⅱ</td> <td>漏水・遊離石灰、床版ひびわれ</td> <td>3-床版01,3-床版02 写真19,21</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">下部構造</td> <td>Ⅱ</td> <td>Ⅱ</td> <td>ひびわれ</td> <td>3-橋台02 写真22</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">支承部</td> <td>Ⅱ</td> <td>Ⅱ</td> <td>支承部の機能障害、漏水・滞水</td> <td>3-支承部0202 写真28,30</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">その他</td> <td>Ⅰ</td> <td>Ⅱ</td> <td>止水材劣化、遊離石灰、伸縮装置からの漏水</td> <td>3-伸縮装置01,3-高欄01,3-地覆01,3-橋台02 写真31,32,33,34,35</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								部材名		点検時の記録				応急措置後の記録			判定区分の最悪値 (チェックシート)	判定区分の診断 (技術者判断)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考 (写真番号、位置等がわかるように記載)	応急措置後の判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	応急措置内容	措置及び判定 実施年月日	上部構造	主桁	Ⅱ	Ⅱ	腐食	3-主桁01 写真9	—			横桁	Ⅰ	Ⅰ			—			床版	Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰、床版ひびわれ	3-床版01,3-床版02 写真19,21	—			下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	3-橋台02 写真22	—			支承部		Ⅱ	Ⅱ	支承部の機能障害、漏水・滞水	3-支承部0202 写真28,30	—			その他		Ⅰ	Ⅱ	止水材劣化、遊離石灰、伸縮装置からの漏水	3-伸縮装置01,3-高欄01,3-地覆01,3-橋台02 写真31,32,33,34,35	—		
部材名		点検時の記録				応急措置後の記録																																																																						
		判定区分の最悪値 (チェックシート)	判定区分の診断 (技術者判断)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考 (写真番号、位置等がわかるように記載)	応急措置後の判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	応急措置内容	措置及び判定 実施年月日																																																																				
上部構造	主桁	Ⅱ	Ⅱ	腐食	3-主桁01 写真9	—																																																																						
	横桁	Ⅰ	Ⅰ			—																																																																						
	床版	Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰、床版ひびわれ	3-床版01,3-床版02 写真19,21	—																																																																						
下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	3-橋台02 写真22	—																																																																						
支承部		Ⅱ	Ⅱ	支承部の機能障害、漏水・滞水	3-支承部0202 写真28,30	—																																																																						
その他		Ⅰ	Ⅱ	止水材劣化、遊離石灰、伸縮装置からの漏水	3-伸縮装置01,3-高欄01,3-地覆01,3-橋台02 写真31,32,33,34,35	—																																																																						

健全性の診断		径 間 番 号		3				
フリガナ 橋 梁 名	ナナセノボリランプキョウ 4034 七瀬上りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4034_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45′ 11″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 03″				

損傷図作成用メモ用紙

健全性の診断

桁下

その他 高欄01 遊離石灰 II
写真番号-33

その他 地覆01 遊離石灰 II
写真番号-34

床版01 遊離石灰 II
写真番号-19

主桁01 腐食 II
写真番号-9

横桁06 腐食 I
写真番号-14

縦桁02 腐食 I
写真番号-13

床版02 床版ひびわれ II
写真番号-21 (W=0.25mm L=600mm)

W=0.15mm

W=0.15mm

W=0.20mm
L=600mm

P2

A2

変状の種類	表 示	変状の種類	表 示	変状の種類	表 示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		変形・欠損	
鉄筋露出		その他		腐食	

部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
		判定区分の最悪値 (チェックシート)	判定区分の診断 (技術者判断)	変状の種類 (Ⅱ 以上の場合に記載)	備考 (写真番号、位置等がわかるように記載)	応急措置後の判定区分 (Ⅰ ～Ⅳ)	応急措置内容	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	Ⅱ	腐食	3-主桁01 写真9	—		
	横桁	Ⅰ	Ⅰ			—		
	床版	Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰,床版ひびわれ	3-床版01,3-床版02 写真19,21	—		
下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	3-橋台02 写真22	—		
支承部		Ⅱ	Ⅱ	支承部の機能障害,漏水・滞水	3-支承部0202 写真28,30	—		
その他		Ⅰ	Ⅱ	止水材劣化,遊離石灰,伸縮装置からの漏水	3-伸縮装置01,3-高欄01,3-地覆01,3-橋台02 写真31,32,33,34,35	—		

健全性の診断		径間番号	3					
フリガナ 橋梁名	ナナセノボリランプキョウ 4034 七瀬上りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4034_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45' 11"		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21' 03"				

損傷図作成メモ用紙

P2橋脚 (A2側)
A2橋台

支 承 部 0102 沓 座 モ ル タ ル 欠 損 I
写 真 番 号 -29

A2橋台

支 承 部 0202 漏 水 ・ 滞 水 II
写 真 番 号 -30

其 他 落 橋 防 止 装 置 0202 腐 食 I
写 真 番 号 -37

其 他 橋 台 02 伸 縮 装 置 か ら の 漏 水 II
写 真 番 号 -35

橋 台 02 剥 離 ・ 鉄 筋 露 出 I
写 真 番 号 -23, 24 (4800mm × 600mm)

橋 台 02 ひ び わ れ II
写 真 番 号 -22 (W=0. 5mm L=2300mm)

P2橋脚 (A2側)

支 承 部 0202 支 承 の 機 能 障 害 II
写 真 番 号 -28 (腐 食)

橋 脚 01 ひ び わ れ II
(W=0. 2mm)

W=0. 40mm
L=300mm

W=0. 35mm
L=600mm

W=0. 20mm

W=0. 20mm

変状の種類	表 示	変状の種類	表 示	変状の種類	表 示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		変形・欠損	
鉄筋露出		その他		腐食	

健全性の診断	部材名		点検時の記録				応急措置後の記録		
			判定区分の最悪値 (チェックシート)	判定区分の診断 (技術者判断)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考 (写真番号、位置等がわかるように記載)	応急措置後の判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	応急措置内容	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁		Ⅱ	Ⅱ	腐食	3-主桁01 写真9	—		
	横桁		Ⅰ	Ⅰ			—		
	床版		Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰、床版ひびわれ	3-床版01,3-床版02 写真19,21	—		
下部構造			Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	3-橋台02 写真22	—		
支承部			Ⅱ	Ⅱ	支承部の機能障害、漏水・滞水	3-支承部0202 写真28,30	—		
その他			Ⅰ	Ⅱ	止水材劣化、遊離石灰、伸縮装置からの漏水	3-伸縮装置01,3-高欄01,3-地覆01,3-橋台02 写真31,32,33,34,35	—		

健全性の診断		径間番号		3				
フリガナ 橋梁名	ナナセノボリランプキョウ 4034 七瀬上りランプ橋	路線名	029 中野豊野線		管理者名	長野県	橋梁番号	4034_0
所在地	長野県中野市大字七瀬 地先	起点側	緯度	36° 45′ 11″		13 中野	点検年月日	20200917
			経度	138° 21′ 03″				

損傷図作成用メモ用紙

箱桁内部

至 志賀

至 中野

損傷なし

上 面

左側面

下 面

右側面

P2

A2

変状の種類	表 示	変状の種類	表 示	変状の種類	表 示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		変形・欠損	
鉄筋露出		その他		腐食	

健全性の診断

部材名	点検時の記録				応急措置後の記録			
	判定区分の最悪値 (チェックシート)	判定区分の診断 (技術者判断)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考 (写真番号、位置等がわかるように記載)	応急措置後の判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	応急措置内容	措置及び判定 実施年月日	
上部構造	主桁	Ⅱ	Ⅱ	腐食	3-主桁01 写真9	—		
	横桁	Ⅰ	Ⅰ			—		
	床版	Ⅱ	Ⅱ	漏水・遊離石灰、床版ひびわれ	3-床版01,3-床版02 写真19,21	—		
下部構造		Ⅱ	Ⅱ	ひびわれ	3-橋台02 写真22	—		
支承部		Ⅱ	Ⅱ	支承部の機能障害、漏水・滞水	3-支承部0202 写真28,30	—		
その他		Ⅰ	Ⅱ	止水材劣化、遊離石灰、伸縮装置からの漏水	3-伸縮装置01,3-高欄01,3-地覆01,3-橋台02 写真31,32,33,34,35	—		